



かけがえのない
時間を仲間たちと



Good Memories

CONTENTS

- 01 文化祭
- 02 5年生 研修旅行
- 03 5年生 研修旅行
- 04 4年生 夜間歩行 & 社会人講演会
3年生 学習特訓・実力テスト
- 05 2年生 研修旅行
1年生 校外学習 & 原爆手記朗読劇
- 06 大学入試合格速報
- 07 TOPICS・表彰・CLUB NEWS
- 08 メモリアル特集・学校通信の軌跡

5年生/VIKING

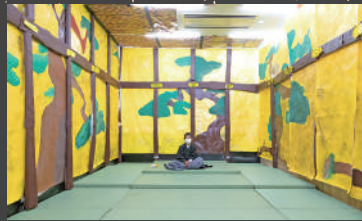
HIROSHIMA
NAGISA
NEWS



HIROSHIMA NAGISA JUNIOR HIGH SCHOOL SENIOR HIGH SCHOOL



1年生/校外学習展



2年生/研修旅行展



3年生/トロッコシューティング



4年生/それいけ!徳ちゃんマン!



バトン部/Small Flowers



管弦楽部/響心

第58回文化祭

日程 令和4年11月13日(日)



茶道部/霜月茶会

コロナ禍での文化祭も3回目となりました。今年度も昨年度までに引き続き、新型コロナウイルス感染対策として、一般公開は中止となりましたが、来校できる家族の人数制限は設けずに実施しました。

今年の文化祭のテーマ『行雲流水』は「空行く雲や流れる水のように自然体で、生徒一人ひとりが自由な思いを発揮できるような文化祭にしたい」という想いが込められています。コロナ禍のため制限がかかる中で、できる限りの展示や模擬店の企画、運営を行いました。1年生は校外学習、2年生は奈良・京都への研修旅行での学びを展示、発表しました。3年生・4年生は体験型のアトラクションを行い、5年生は最高学年にふさわしい大型のアトラクションや模擬店で来場者をもてなしました。体育館ステージでは有志によるダンスやバンドステージ、クラブの発表、シェルホールコンサートではすばらしい演奏会が行われました。

PTAの皆様には、遊休品、手作り品、食品バザーなどのご協力をいただきました。ありがとうございました。

生徒会長 5年2組 / 福富 香乃

この度は第58回文化祭にお越しくださりありがとうございました。雨天中での開催となりましたが、テーマ「行雲流水」に込められた想いの通り自然体で生徒一人ひとりが自分らしく、各団体の企画に取り組むことができた文化祭になったと思います。この文化祭がゴールではなくそれぞれの未来への通過点となるよう願っています。この日のために支えてくださった全ての方に感謝申し上げます。

5年生 研修旅行

ドバイコース

日程 令和4年10月7日(金)～13日(木)

今年度で9回目を迎えるドバイ研修旅行が秋休みに実施され、13名が参加しました。到着前日から気候が穏やかになり、暑さが落ち着き恵まれた環境でした。とはいっても、最高気温は35℃近くまで上昇するため、生徒は順応するのに苦心惨憺でした。今回はアラビア書道、砂漠体験、現地の学校訪問や経済特区の見学など従来のメニューに加え、現地の方の口添えで特別にムハンマド・ビン・ラシード宇宙センターやラクダ病院を見学させていただくという例年にも増して濃密なものとなりました。ドバイの英語は特有のアクセントを持つため、各見学先で質問することに戸惑いやためらいを感じていた生徒もいましたが、旅の後半には何とか質問をするようになり日に日に成長を感じました。各研修先で日本の良さ、ドバイの良さを比較しながら、ドバイの戦略や見通し、日本の素晴らしさを改めて実感することができ、様々なことを学んだ7日間となりました。



砂漠で夕日を背景に



ジュメイラ・モスクで
ムスリムガイドとともに



アラブの伝統的な食事を体験



ムハンマド・ビン・ラシード
宇宙センターにて



ヘマヤスクール訪問の様子



ヘマヤスクールの
生徒たちと



ブルジュ・ハリファ
展望台からの眺め

5年5組 / 横更 大樹

ドバイではアジア系、ヨーロッパ系、アフリカ系など様々な人種の方と触れ合うことができ、視野が広がりました。また、ドバイの街では必ずどこかが工事中で、まだまだ新しいビルが建てられています。常に新しく時代のトップであり続けようとするドバイには見習う所が多くあると感じました。



程吾科技大学学生の
案内による楽しい街歩き



中正高校の生徒と
ワークショップを通して交流



国立故宮博物院にて
至宝について学習

5年2組 / 熊野 翔太

日本と台湾の文化の違いを感じ、グローバル化の必要性に気付かされた研修でした。日本、台湾だけでなく世界共通で抱えている問題について中正高校の生徒と意見交換をしました。その中で、言語や文化の違いから生まれる差別や貧富の差があることを知り、これからの時代を生きる私たちのような若い世代がその問題の解決に向け、最大限の努力をしなくてはならないと感じました。この台湾研修旅行でしか得ることのできない、これからの生活の財産となる貴重な経験をすることができたと思います。

台湾コース

日程 令和4年12月23日(金)～28日(水)

新型コロナウイルスの影響で、時期を秋季から冬季、行程を5泊6日に変更し、ようやく3年ぶりの実施となりました。出発日は大雪のため、新幹線、飛行機などの遅延がありましたが、予定したプログラムを実施することができました。十分での天燈上げや九份散策から始まり、台北では銘傳大学での英語による授業体験を兼ねた研修、程吾科技大学学生との半日街歩き、中正高校生徒との交流会、高雄では義守大学学生との交流会など充実した内容となりました。生徒たちは台湾の食、文化、芸術、歴史、人々との出会い、特に同世代の台湾の大学生や高校生との交流の中で、大きな刺激を受けていました。参加した生徒一人ひとりが今回の体験活動を自らの糧として、これからの進路選択や学校生活に主体的意欲的に取り組んでくれることを期待しています。



義守大学学生と互いの
文化について発表、質疑応答



銘傳大学の講義を英語で受講、留学体験



中正記念堂を見学し、
台湾の歴史・政治を学習

沖縄・久米島コース

日程 令和4年10月7日(金)
~12日(水)

初日は沖縄本島で平和学習を行い、2日目に50人乗りのプロペラ機で久米島へ飛びました。島では、民泊、シーサー作りや三線教室などの体験学習、東洋一美しいといわれるハテの浜散策、サンゴ保全プログラムなどに参加し、島の人々の温かさと、自然の優しさ、厳しさに触れました。5日目から沖縄本島に戻り、KOZA(沖縄市コザ)で、返還前の沖縄の歴史を学びました。人と自然の温かさに包まれた久米島と、日・米・琉球の文化が混在する沖縄の双方から多くを学んだ6日間となりました。



民泊先 玄関のない家

ハテの浜行き グラスボート

5年2組 / 土井 美優

私が今回の研修旅行を通して一番印象に残ったことは、民泊をした沖縄の古民家です。そこには、私たちが当たり前にあると思っていた玄関がありませんでした。沖縄の温暖な気候と高湿度に対応するために家の窓やドアを全開にし、縁側から出入りするので、玄関を造る必要がないと聞きました。この構造のおかげで、外と中という区別がなくなり、この外と一体感を持つことができる感覚が、沖縄の地域の繋がりを深めているのではないかと思います。

沖縄・南大東島コース

日程 令和4年10月7日(金)
~12日(水)

初日は沖縄本島で平和学習を行いました。2日目は早朝から50人乗りのプロペラ機で南大東島へ飛びました。島では、生まれも育ちも南大東島の方々のガイドで、サトウキビ畑に囲まれたの島一周サイクリング、鍾乳洞探検、海洋実習、天然堀プールなどで島の自然を学びました。5日目から沖縄本島に戻り、石炭火力発電所、製塩工場を見学した後、KOZA(沖縄市コザ)で、返還前の沖縄の歴史を学びました。八丈島の文化が残る南大東島と日・米・琉球の文化が混在する沖縄の双方から多くを学んだ6日間となりました。



岸壁に囲まれた島を
外から眺める海洋実習

鍾乳洞の地底湖探検

5年1組 / 上名 純ノ介

私が南大東島コースで学んだことは自然の雄大さと島民の絆です。南大東島では、アジアで最も美しいと言われる鍾乳洞や真っ暗な洞窟を進んで見る澄みきった地底湖、海岸を掘り込んで作った天然のプールなど、普段の生活では味わえない壮大な自然を肌で体感できました。また、南大東島の人口は1300人程でほとんどが顔馴染みだそうです。島の運動会を少しだけ見る機会があり、その際島中の島民が集まって大人も子供もみんな楽しんでるのが印象的でした。

北海道スキーコース

日程 令和4年12月23日(金)
~28日(水)

初日は大雪警報が発令され、広島からのリムジンバスは運行停止。広島空港での出発式に10名以上間に合わないという波乱万丈なスタートでしたが、北海道では晴天にも恵まれ、充実した6日間となりました。この研修は自然・人・文化との出会いから学ぶことを目的とし、初日はウポポイ民族共生象徴空間に立ち寄りしました。アイヌ民族の伝統芸能などを鑑賞し、多様な価値観に触れました。2日目から5日目までは、パッセージ合格に向けてスキースクールでの研修です。初めてスキーをする生徒が多くいましたが、インストラクターの熱心な指導のもと、日ごとに技術を向上させ、参加者54名全員が成長や達成感を実感できた研修旅行でした。



国立アイヌ民族
博物館展示室にて



ブルークボーゲンの練習

5年1組 / 古本 權

この研修旅行を通して一番学んだことは、「人(仲間)との交流」です。初日のウポポイでは、地域の人々が協力して失われつつあったアイヌ独自の文化を後世に遺していこうと努力したことが分かり、とても感動しました。スキー研修では、班員全員ほぼ初心者でしたが、最後には勾配の急な坂でも落ち着いて対応し、スピード制御もかなり上達しました。私たちが短期間で成長できたのは、インストラクターや班員と積極的に意見交換をしたからだと思います。他者からの意見を取り入れることで、自分自身の成長に繋げることができ、スキーがとても好きになりました。今後も様々な場面で、人と積極的に交流して互いを高め合える関係をつくりたいと思います。最高の6日間をありがとうございました。

新潟・越後妻有コース

日程 令和4年12月23日(金)
~28日(水)

民泊を伴う多くのプログラムを通じて、現地の方々と交流し雪国の暮らしについての理解を深めました。民泊先のご家族との関係を深めながら、身近な人たちの様子から豪雪地帯という過酷な環境で培われた工夫や知恵を肌で感じ、雄大な自然との付き合い方を知ることができました。また、国際的なプロジェクトである「大地の芸術祭」の作品展を巡り、地域の振興への熱意も感じることができました。日本の抱える高齢化や過疎化といった問題に対し、今後のあるべき姿の一端に触れられたように思います。



民泊先の方々との集合写真

作った
かまくらの中でお汁粉タイム

5年1組 / 重信 ころこ

今回の研修旅行では初めて民泊を体験し、雪国での暮らしの工夫を学びました。民泊先は自給自足の生活をしており、自然に寄り添った暮らしの良さを実感することができました。その地域は過疎という問題を抱えていますが、それを感じさせない人々の心の温かさや力強さに胸を打たれました。そして大地の芸術祭では、地域の方々の協力のもとに素晴らしいアート作品が成り立っていることに気付かされました。この貴重な旅を心に刻んで、日々の生活に活かしていきたいと思いました。

4年生 夜間歩行

日程 令和4年10月7日(金)・8日(土)

場所 愛媛県今治市 道の駅多々羅しまなみ公園～糸山公園



元気いっぱいの
スタート直後

「人間力の鍛錬」を目的とし、今年度は愛媛県今治市の道の駅多々羅しまなみ公園から同市糸山公園までの約30.6キロメートルの完歩を目指して夜通し歩きました。ゴールが近付くにつれて、増してくる疲労や眠気と戦いながらの歩行となりましたが、生徒たちは互いを優しく気遣い励まし合って、最後まで歩き切ることができました。ゴール地点の展望台から見えた朝日は美しく、大きな達成感と共にそれぞれの心に深く刻まれました。

4年3組 / 岡田 創太

参加前、夜間歩行は自分一人との闘いだと思っていましたが、後半になるにつれて、それが間違いだと気づきました。段々、足が痛み、歩くのが辛く、疲れが出て気分も沈んでしまいました。そんな時、友人の「あと少しだよ。」という声掛けに対して、自然と私からも「頑張ろう。」と声を掛けることができました。そして、友人の優しい言葉が励みとなり、ゴールに辿り着けました。仲間が存在が困難を乗り越える力となりました。仲間との支え合い、励まし合う大切さや喜びを実感した瞬間でした。これを機に更に絆を深めていきます。



クラスでまとまって歩行



夜食をとって体力回復

4年生 社会人講演会

日程 令和4年11月25日(金)

今年度は8人の講師の先生をお迎えし、分科会に分かれて講演を拝聴しました。この日のために司会進行係をはじめとする役員の生徒が中心となり、会の運営や進行、会場の飾りつけなどの準備を協力して行ってきました。当日は講師の先生のお話から多くのことを吸収したいという意識を高く持って臨み、社会人としての生き方、仕事への情熱ややりがい、高校生へのアドバイスなどをお聞きして、様々なことを発見し、貴重な学びとすることができました。

4年1組 / 岡本 華奈

宇佐川さんのご講演を伺い、自分の行動によって可能性を伸ばすことができることに気づきました。今後、希望する進路を考えていく時にも積極的に行動を起こし、宇佐川さんが仰った「見る、聞く、感じる」ということを意識していきたいと思います。また、今回私は司会運営係を担当し、会の内容や時間配分を考えるなどの準備に力を入れてきました。当日は円滑に進行させることができ、計画性や臨機応変に対応する力が身についたと感じています。社会人講演会を通して、私自身の成長に繋げていきたいです。



黒田さんのご講演



宇佐川さんのご講演



お話を
真剣に
聴く生徒

氏名	講師の紹介	講演タイトル
柴田 みつ恵	Live・Colors 代表	色と生きる ～人のお役にたつことが、自分の生きる力となる～
岩佐 和代	中国電力(株)中電病院地域包括ケア病棟師長	人生日々勉強 ～患者さんから教えていただくこと～
宇佐川 善久	有限会社ケー・サブール オーナーシェフ	生き方は考え方だい
宮崎 園子	フリーランス記者	わたしという「個」—社会の中で、どう生きていくか
沖田 篤史	田中法律事務所 弁護士	為せば成る
弥中 敏和	株式会社GKデザイン総研広島 代表取締役社長	考える職業としてのデザイン
黒田 千晴	AGRI オーナーシェフ	自分の中に眠るすごい自分を見つけよう～眠る遺伝子を呼び覚ませ!～
今田 典子	戸山の森のようちえん 園長	人はみんな自分で育つ力を持っている

3年生 学習特訓・実力テスト

学習特訓 令和4年10月11日(火)～14日(金)

実力テスト 令和4年10月17日(月)・18日(火)



授業での最終確認の様子

秋休み中の4日間で学習特訓、秋休み明けの2日間で実力テストが実施されました。学習特訓では、教科ごとにこれまでの学習内容を振り返るための授業を行い、下校時刻まで自学自習と質問の時間が設けられました。1日8時間の学習にも必死に取り組む姿が見られ、辛い時も皆で乗り越えるという達成感を得ることで、胆力を鍛えることができました。実力テストでは適度な緊張感の中、これまでの学習の成果を出し切りました。学習特訓、実力テストを終え、高等学校進学に向けて必要な学力と、進学後の学習に対する姿勢を学ぶ良い経験となりました。

3年5組 / 竹本 梨乃

学習特訓と実力テストを通して学んだことは、先を見越して細かいところから復習していくべきだということです。学習特訓の時や、直前に焦って勉強するのではなく、日々の課題や家庭学習を毎日継続して行うことで、実力テストに合格できるだけでなく、今後の高校生活にも活かせると思いました。今となって後悔することはいくつかありますが、最後までやり抜き、努力できたと思います。この経験を活かして勉強に励み、残りの中学校生活を過ごしていきます。

2年生 研修旅行

日程 令和4年10月11日(火)～14日(金)

場所 奈良・京都

1日目 奈良 東大寺・法隆寺クラス別研修

2日目 明日香村サイクリング研修・平等院鳳凰堂見学

3日目 京都タクシー研修

4日目 京都コース別研修(11コース)

「学びを深める視点やスキルを手に入れる」「規律を守り、なぎさ生らしいマナーを身に付ける」という2つの目的を持ち、事前学習・現地学習に取り組みました。この研修旅行を通じ、集団としてのあり方や個人としての役割を意識して行動するなど、多くの成長が見られました。また、研修旅行委員が作成した学年ガイドや夏休みに作成した班別の京都マイガイド、現地での聞き取りメモや体験したことなどを研修旅行記としてまとめました。世界に1つだけのオリジナル研修旅行記を開けば、この4日間の出来事が何年経っても思い出されることと思います。

2年1組 / 山根 侑愛

研修旅行中の班活動では、しっかり全員で協力し、一人ひとりが意識して行動したことで、楽しく学びを深められたと思います。始めは集合時間の意識が低い状態でしたが、少しずつ意識が高まり、早めに集合するということが当たり前になっていきました。また、学習面では現地で見られない歴史的な建造物や、ガイドさんから聞いた話をしっかりとメモできたと思います。これら以外にも、パンフレットなどを見て更に学びを深めていきたいです。事前学習、現地学習、事後学習を大切にして、世界に1冊だけの研修旅行記を沢山の学びが詰まったものにしていきます。



ガイドさんの説明を聞きながら東大寺を見学



明日香村サイクリング、いざ出発



重要文化財の大鐘楼のお話を聞く様子(知恩院お坊さん体験コース)



タクシー研修
伏見稲荷大社で記念撮影

1年生 校外学習

日程 令和4年10月7日(金)・8日(土)、11日(火)～13日(木)

場所 鶴学園八千代校舎

4月に行った鶴学園沼田校舎でのオリゼミに続き、10月には2回目となる校外での学習を実施しました。今回は鶴学園八千代校舎にてクラスごとに日帰り自然体験学習を行いました。この校外学習では、「自然と対話し、仲間と協力して自然の中で暮らしをつくる体験をする」、「集団生活を通して、規律・責任・協力の大切さを体験する」を目的とし、「森の物語」、「森の村づくり」などの活動を行いました。「森の物語」では班別ウォークラリーを行い、八千代キャンパスの豊かな自然の中で五感を意識した時間を過ごしました。また、「森の村づくり」では、八千代校舎のスタッフの方の協力のもと、みんなで力を合わせて活動し、素敵な笑顔と学びがいっぱいの時間となりました。



みんなで泥をかき分け
レンコン掘り



3種類の火起こしを体験



地図を頼りに森のウォークラリー



釘を使わず橋をつくる
ダヴィンチの知恵

1年5組 / 王 百華

小学生の頃からリーダーとして様々なことをやってきましたが、この校外学習を通してもっと周りに気配りができるようになり、何よりも友人と協力して物事に取り組めるようになったと思います。そして、最初の内は時間を守ることができていみせんでしたが、最後には時間に余裕をもって行動することができて、成長を感じられました。普段あまり喋らない人とも喋ることができたので、更に友達の輪も広がりました。

1年生 原爆手記朗読劇

日程 令和4年12月20日(火)

場所 本校シェルホール

今年度も1年生を対象に、「夏の会」の皆さんによる原爆手記朗読劇「夏の雲は忘れない」がシェルホールで上演されました。この朗読劇には1年生の中からオーディションによって選ばれた4名の生徒も出演しました。原爆によって家族を失った人たちの思いを綴った手記に向き合い、それを丁寧に伝えようと本番に向けて放課後の練習を重ねていきました。上演当日、スクリーンには朗読に合わせて被爆直後の街や人々の様子が映し出され、それに音響も加わりました。「夏の会」の皆さんの朗読には、平和への強い思いが込められており、生徒一人ひとりの心に強く響いた様子でした。



平和への祈りを届けます



平和への思いを込めた朗読

1年4組 / 山野井 心萌

朗読の練習をする中で、作者がどのような痛みで、どのような気持ちだったのかを考える事が頻繁にありました。「関係」の授業の中で演じる際には、主人公がどのような気持ちで会話をしているのかを考え、登場人物に共感することで、少しでも近づく方法を模索しました。朗読する際、自分の経験から似たような感情を取り出そうとしますが、私は原爆と同じくらいの辛い経験をしたことがありません。そのため、聴いている人には言葉で伝えませんが、一人ひとりの頭の中で状況を想像してもらえるように意識して朗読しました。手記を読んでも「私と原爆は無関係ではない」という実感がわいてきました。今までたくさんの方の平和学習をしてきましたが、振り返るといつも受け身の状態でした。今回の朗読で多くのことを学ぶことができたので、今後は戦争を体験された方が少なくなっても、その方々の気持ちを伝え、繋げていきたいと感じました。

TOPICS

Activities

5年2組 / 天島 涼葉

私たち高校バトン部は、約4ヶ月の練習を経て、この大会に出場しました。全国という大舞台は、普段よりも不安や緊張も大きく感じました。しかし、メンバーそれぞれが自分たちの練習に自信を持ち、互いが互いの支えとなることで、全員で最大限の3分間を作り上げることができました。また、他校の演技を鑑賞して、細部までこだわって揃えることの大切さや、それによってレベルの高い表現ができることなど、多くのことを学んで帰ってきました。これからも進化していくバトン部に期待してください。応援をよろしくお願いします。

高校バトン部観戦記 第50回バントワーリング全国大会

10月に行われた第39回バントワーリング中国大会にて、全国大会出場を推薦をいただき、本大会に出場しました。今年度の演技曲は、ディズニー映画「アナと雪の女王」のテーマ曲「Let It Go」です。この曲に合わせて、あらゆる障害を乗り越え自由な世界へと力強く踏み出すさまを表現したいと願い、試行錯誤を繰り返してきました。本番ではその練習の成果を充分に発揮することができました。また、他校の演技を鑑賞する中でも多くの刺激を受けました。

日程 令和4年
12月10日(土)
会場 幕張メッセ
イベントホール
部門 学校部門



演技後の集合写真

表彰

令和4年度第56回中学生の「税についての作文」

成績 広島県知事賞 青山 優(3-5)
廿日市税務署長賞 菅 結月(3-3)
大竹佐伯地区納税貯蓄組合連合会 会長賞
河村 波音(2-4)・桑原 瑞季(1-4)
中国税理士会廿日市支部 支部長賞 清水 琴子(2-5)
広島西南法人会 会長賞 曾根川 嘉美(2-3)

第14回IIBC高校生英語エッセイコンテスト

成績 特別賞ならびに日米協会会長賞 山本 里咲(5-1)

第16回ベートン音楽コンクール中国地区本選

成績 自由曲コース高校生の部 優秀賞(全国大会進出) 日浦 優(6-3)

第44回広島県高等学校音楽コンクール

成績 声楽部門 優秀賞 田中 友理(5-1)

第34回OHK杯争奪フィギュアスケート大会

成績 2級男子 第1位 松平 侑大(1-2)

第39回広島市中学校総合文化祭

成績 英語暗誦の部 発音賞、内容賞、表現力賞
(第16回文化の祭典(中学校の部)へ推薦、出場) 河村 波音

令和4年度佐伯区交通安全児童生徒習字・標語コンクール

成績 習字の部 銅賞 谷本 莉子(3-3)

CLUB NEWS

高校陸上部

第76回中国五県陸上競技対抗選手権大会	
日程	令和4年8月20日(土)・21日(日)
成績	男子400mハードル 第6位 寺尾 勇杜(6-2) 男子4x400mリレー 第8位 美藤 幹汰(6-2)・古中 陸人(5-3)・西本 陸祐(6-1)・庄司 暁人(5-5)
第72回広島県高等学校対抗陸上競技選手権大会	
日程	令和4年8月27日(土)・28日(日)
成績	男子400m 第1位 美藤 幹汰 男子400mハードル 第1位 寺尾 勇杜 男子4x400mリレー 第7位 西本 陸祐・美藤 幹汰・庄司 暁人・横本 陽之輔(4-4) 女子400mハードル 第4位 永井 千尋(5-5)
第61回広島県高等学校新人陸上競技大会	
日程	令和4年9月17日(土)・18日(日)
成績	男子110mハードル 第2位 古中 陸人 男子400mハードル 第4位 古中 陸人 女子400m 第7位 永井 千尋 女子400mハードル 第4位 永井 千尋 女子4x400mリレー 第8位 永井 千尋・重信 こころ(5-1)・末廣 慧花(5-4)・惣田 碧(4-2)
第31回中国高等学校新人陸上競技選手権大会	
日程	令和4年10月1日(土)・2日(日)
成績	男子110mハードル 第6位 古中 陸人

高校水泳部(競泳)

令和4年度広島県高等学校新人水泳競技大会(競泳)兼第10回中国高等学校新人水泳競技大会広島県予選会	
日程	令和4年9月24日(土)・25日(日)
成績	女子200m平泳ぎ 第8位 岡村 美紗(4-5)

高校硬式テニス部

第75回広島県高等学校テニス新人大会(個人戦)	
日程	令和4年9月24日(土)・25日(日)
成績	男子ダブルス 第5位 田中 達也(4-3)・大島 碧斗(4-3) 男子ダブルス 第9位 永田 航大(4-3)・梶岡 侑生(4-4) 男子シングルス 第9位 田中 達也 女子ダブルス 第9位 金田 湖雪(5-5)・廣瀬 友乃(5-3)
第16回中国高等学校新人テニス大会	
日程	令和4年11月19日(土)
成績	男子シングルス ベスト32 田中 達也 女子ダブルス ベスト16 金田 湖雪・廣瀬 友乃

高校バトン部

第39回バントワーリング中国大会	
日程	令和4年10月9日(日)
成績	学校部門 金賞
第50回バントワーリング全国大会	
日程	令和4年12月10日(土)
成績	学校部門 銀賞

中学硬式テニス部

第70回広島市中学校総合体育大会	
日程	令和4年7月27日(水)・28日(木)
成績	男子個人戦(ダブルス)準優勝 徳永 恢良(3-1)・岩見 俊輝(2-2)
第2回中国中学校テニス選手権大会	
日程	令和4年8月4日(木)・5日(金)
成績	男子団体戦 優勝
第49回全国中学生テニス選手権大会	
日程	令和4年8月20日(土)・21日(日)
成績	男子個人戦(ダブルス)ベスト8 徳永 恢良・藤山 一翔輝(3-2)
令和4年度広島市中学校新人テニス大会	
日程	令和4年11月12日(土)
成績	男子団体戦 準優勝
第11回全国選抜中学校テニス大会広島県予選	
日程	令和4年11月20日(日)
成績	男子団体戦 優勝 中国大会出場

中学陸上部

第70回広島市中学校総合体育大会	
日程	令和4年9月10日(土)・11日(日)
成績	1年男子200m 第4位 宮野 景虎(1-5) 1年男子100mハードル 第5位 久行 哲平(1-4) 1年男子走幅跳 第5位 久行 哲平、第8位 宮野 景虎 1年男子4x100mリレー 第8位 崎村 仁人(1-4)・平田 航輝(1-5)・宮野 景虎・久行 哲平 1年女子80mハードル 第7位 小倉 榮(1-4)
令和4年度広島市中学校新人陸上競技大会	
日程	令和4年10月23日(日)
成績	男子走幅跳 第8位 宮野 景虎 女子800m 第4位 森田 虹音(1-3)

中学バトン部

第39回バントワーリング中国大会	
日程	令和4年10月9日(日)
成績	学校部門 金賞
中高合唱部	
第61回広島県合唱コンクール	
日程	令和4年8月7日(日)
成績	高等学校部門Aグループ 金賞、中学校部門混声合唱の部 金賞
第61回中国合唱コンクール	
日程	令和4年9月24日(土)・25日(日)
成績	[24日] 高等学校部門Aグループ 銀賞 [25日] 中学校部門混声合唱の部 銀賞
第89回NHK全国学校音楽コンクール広島県コンクール	
日程	令和4年8月11日(木)
成績	高等学校の部 金賞、中学校の部 金賞
第89回NHK全国学校音楽コンクール中国ブロックコンクール	
日程	令和4年9月10日(土)・11日(日)
成績	[11日] 高等学校の部 銅賞、[10日] 中学校の部 銅賞

中高囲碁・将棋部

第31回広島県高等学校将棋大会	
日程	令和4年11月12日(土)
成績	男子個人戦 第6位 中国大会出場 加島 直樹(5-5) 女子個人戦 第3位 中国大会出場 吉川 結(5-2)
第21回中国地区高等学校将棋選手権大会	
日程	令和4年12月17日(土)・18日(日)
成績	男子個人戦 第20位 加島 直樹、女子個人戦 第3位 吉川 結

中高美術部

第36回広島県高等学校総合文化祭ポスターコンクール	
成績	特選3席 奨励賞 山本 里咲(5-1)・田中 友理(5-1)
第6回広島県中高中生ドローイング大賞展	
成績	中学生部門 第三席 フジ賞 大西 季菜(3-3)

中高放送部

第46回広島県高等学校総合文化祭放送文化部門	
日程	令和4年11月6日(日)・13日(日)
成績	[6日] アナウンス部門 優秀賞(第2位) 全国大会・中国大会出場 木村 心香(4-4) 優良賞(第4位) 中国大会出場 河野 里羽(5-2) [13日] オーディオメッセージ部門 優秀賞(第2位) 中国大会出場



学校通信の軌跡

— メモリアル特集 —
Memorial feature

1974 (昭和49) 年11月、学校と保護者のコミュニケーションを図るものとして、『学校通信』第1号が創刊されました。49年という長い年月を重ね、この度記念すべき200号を迎えることができました。



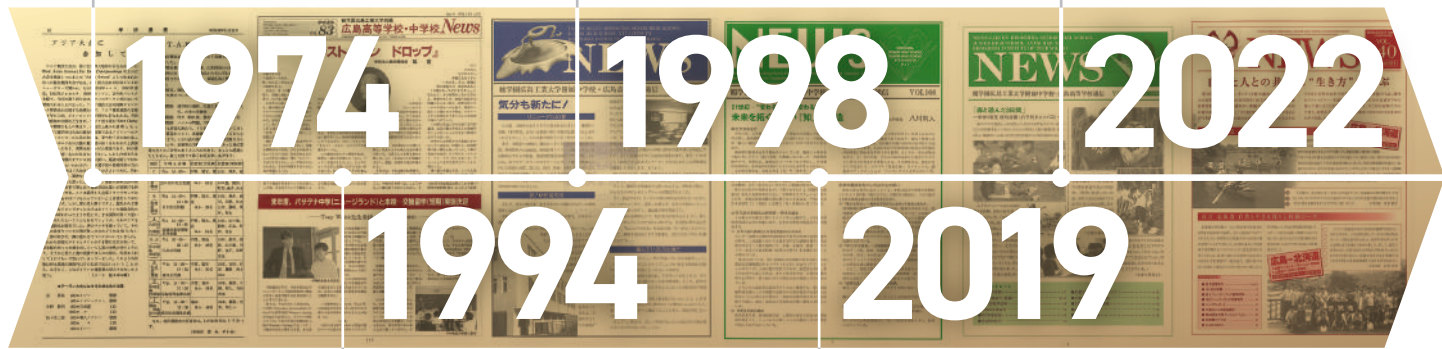
第1号 [1974(昭和49)年11月]



第100号 [1998(平成10)年7月]



第198号 [2022(令和4)年7月]



Key person in vol.80

立役者のご紹介

本校の前身である広島工業大学附属広島高等学校第2期卒業生。保護者(元PTA会長)でもあったことから、現在は鶴学園評議委員として、本校教育活動に指導や助言をいただいております。團伊玖磨さん作曲の現校歌を実現させ、管弦楽部の創設にも尽力されました。

Comment from Mr.Yoshikiyo

『学校通信』200号、おめでとうございます。当時、誰が読むのかを明確にし、学校の中が見える、生徒が主人公である通信にできるよう働きかけ、現在のかたちである第80号が誕生しました。更なる進化を遂げる『学校通信』を楽しみにしています。



吉清 有三
Yoshikiyo Yuzo

第80号 [1994(平成6)年3月]



第185号 [2019(平成31)年1月]



To the future